

# 先進医療(多焦点眼内レンズ)のご案内

いままでの眼内レンズでは、近くか遠くのどちらかにピントを合わせ、必要に応じて眼鏡を使用することが一般的でした。

新たに開発された多焦点眼内レンズは、**遠くと近く**に焦点が合うので、メガネを必要とする可能性が従来の単焦点眼内レンズと比べて大きく減ります。

従来のレンズでの見え方



多焦点眼内レンズでの見え方



## ● 費用について…

手術に関わる費用は先進医療(眼内レンズ手術)に関わるものとその他の保険診療とになります。

- 当院の多焦点眼内レンズ手術は**先進医療**に認定されておりますので保険診療と併せてお受けいただけます。  
手術費用および眼内レンズ代金は患者さんのご負担(片眼35万円)となりますが、入院料、検査などの費用は健康保険が適用となります。
- 多焦点眼内レンズは、すべての方に適応となるわけではありません。目の状態やライフスタイル、ご職業などによっては**挿入できない場合もあります**。
- 暗いところで光がまぶしく見えたり、輪がかかって見えることがあります。
- 眼鏡が必要でなくなることを保証するレンズではありません。手術後、場合によっては眼鏡が必要になることもあります。
- 詳しくは、医師またはスタッフまでお気軽にご相談ください。